

Paris Osaka

池田 遙邨(雪の大阪) 1928年
大阪市立近代美術館建設準備室蔵



時空を超えた芸術の旅に出かけませんか？

通天閣とエッフェル塔、中之島にシテ島。何より、大都市にもかかわらず人間の許容量を超えていない大きさ、ひとつの街として私たち一人ひとりが掴みきれぬ雰囲気。いかがでしょう。大阪とパリは似ていませんか？

とんでもないと思う方、ありえないと思う方、多々いらっしゃるでしょう。確かに、人口や面積、経済規模、観光・文化資源の数、その他もろもろ、共通点を見つけることは簡単ではなく、似ている根拠を数字で示せと言われると、つらいものがあります。しかし、中之島をめぐる船旅のなか橋をくぐるたびに思うのです。やっぱり大阪はパリに似ていると。

「パリー大阪 街と芸術をめぐる物語」は、19世紀末から20世紀前半、特に1920年代から30年代、大正から昭和に移る時代を中心に、街に魅了された画家と、画家たちを惹きつけた街にスポットライトを当て、6つの断章、12のエピソード、そして60点の作品で綴る展覧会です。

「古き良き時代(ベルエポック)」から「狂乱の時代(レ・ザネ・フォル)」へと二度の黄金期を謳歌したパリと、「大大阪(だいおおさか)」と日本最大の都市を誇った商都、大阪。このふたつの都市で、どんな芸術家が、どんな想いで、何を描こうとしたのかを探っていきます。そこに見えてくるのはハッピーエンドばかりではありませんが、この街だからこそ生まれたといえる、多彩な作品と物語が浮かび上がってきます。

ギャラリートークを連日開催！

5月1日から13日まで、会期中連日、大阪市立近代美術館建設準備室の学芸員によるギャラリートークを開催します。
平日は展覧会全体をたっぷり40分、土・日・祝はテーマを絞ってじっくり20分。ご参加お待ちしております。

■平日：午後4時～(約40分) ■土・日・祝：午前11時～、午後4時～(各回約20分)

*集合場所：大丸ミュージアム(梅田)入口

*参加費：無料(ただし、展覧会会場内での開催のため入場券が必要です)

◆学芸員のおススメコレクション◆

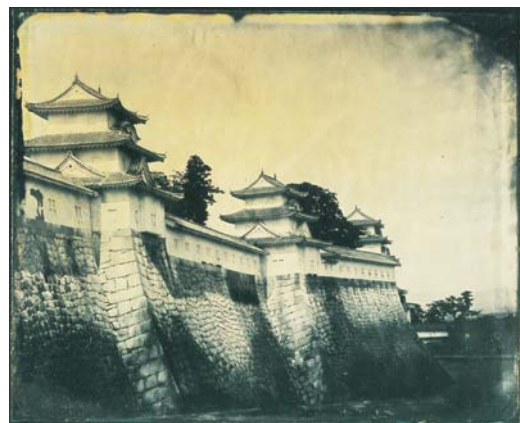
大阪城天守閣 幕末大坂城湿板写真原板 本丸東側諸櫓

「おススメコレクション」といいながら実物の公開がほとんどできないのがこれ。ガラス製で、しかも焼きつけられた像は光に弱いので、めったに表に出せないのです。写っているのは江戸時代末期の慶応元年(1865)もしくは翌年の大坂城で、本丸東側の石垣の上に三層の櫓(やぐら)が3棟そびえています。将軍が在城するなど幕末政治の舞台となっていた大坂城ですが、数年後の戊辰戦争で燃えてしまいました。撮影時と同じ場所に立つといつも「これらの建物が残っていれば…」と思うのですが、喪失感を抱かせるのもまた大阪城の魅力の一つというべきでしょう。

(大阪城天守閣主任学芸員 宮本裕次)

※今回紹介した写真は展示されませんが、大阪城天守閣では5月6日(月・振休)まで、昭和のはじめごろの古写真を中心としたテーマ展「南木コレクションシリーズ第13回 古写真にみるなにわの行事・祭礼」が開催されます。

大阪城天守閣 [所在地] 〒540-0002 大阪市中央区大阪城 1-1 [TEL] 06-6941-3044 [FAX] 06-6941-2197
[アクセス] 地下鉄「谷町四丁目」1-B・9号出口、「森ノ宮」3-B号・1号出口、「大阪ビジネスパーク」1号出口、「天満橋」3号出口 [ホームページ] <http://www.osakacastle.net/>



幕末大坂城湿板写真原板 本丸東側諸櫓 大阪城天守閣蔵

大阪市立博物館・美術館・動物園

大阪てくてくミュージアム

大阪市立東洋陶磁美術館 / 大阪市立科学館 / 大阪市立美術館
天王寺動物園 / 大阪城天守閣 / 大阪歴史博物館
大阪市立近代美術館建設準備室 / 大阪市立自然史博物館

